

2007分析展

JAIMA コンファレンス

セミナー「産業から見たテラヘルツ波時間領域分光の現在と将来展望」

主催： テラヘルツテクノロジーフォーラム

協賛： 応用物理学会テラヘルツ電磁波技術研究会

電子情報通信学会テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会

日本分光学会

日本赤外線学会

日時： 2007年8月29日(水)

場所： 幕張メッセ国際会議場 304 会議室 (http://www.m-messe.co.jp/access_j.html)

参加費： 一般会員 無料、個人会員 1,000 円、協賛学会・研究会・委員会の会員 2,000 円、
非会員 3,000 円、学生 500 円 (当日受付にて徴収いたします)

お申込： 事前登録が必要です。下記ウェブサイトから登録をお願いします。

(http://www.terahertzjapan.com/event/2007jaima_regform.html)

問合せ先： 大竹秀幸 (アイシン精機株式会社 新規事業企画室 イムラレーザ事業グループ)

E-mail: h-ohtake@nbd.aisin.co.jp TEL: 0566-29-3120

時間	タイトル	講演者(所属)
13:00-13:10	はじめに	廣本宣久(静岡大学)
13:10-13:35 (25)	小型テラヘルツ時間領域分光器の製品化に向けて	北岸恵子(大塚電子)
13:35-14:00 (25)	テラヘルツセンサーデバイスの開発とその生体センシングへの応用	尾内敏彦(キャノン)
14:00-14:25 (25)	テラヘルツ波のリアルタイムイメージング	高橋宏典(浜松ホトニクス)
14:25-14:50 (25)	テラヘルツ波発生・検出に適合したフェムト秒ファイバレーザ	大竹秀幸(アイシン精機)
14:50-15:05	休憩	
15:05-15:30 (25)	テラヘルツ分光装置の現在、そして未来をみつめて	深澤亮一(スペクトルデザイン)
15:30-15:55 (25)	新しい工業材料分析技術としてのテラヘルツ分光	熊沢亮一(東レリサーチセンター)
15:55-16:20 (25)	汎用市販 THz-TDS の産業応用	池田敦子(先端赤外)
16:20-16:45 (25)	Bruker Optics の提供する遠赤外・テラヘルツ技術の紹介～製薬分野への適用を中心に～	笹倉大督(ブルカー・オプティクス)